



大谷婦人会委員会開催 会長就退任

連日の猛暑とコロナ禍の不安で過酷な夏でしたが、皆様には各地区においても、大変な御苦勞をなさっておられる事とところよりお見舞い申し上げます。

大谷婦人会の行事も3月開催予定の、「すみれ会」よりほとんど全ての行事が中止となり、寂しい思いをいたしております。7月30日「2020年度委員会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文書審議にて開催しました。審議いただいたすべての事項が可決しました事をご報告申し上げます。

今年度は会長就退任という重大な議案も含まれ、大谷妙子会長の退任に伴い、大谷サチカ副会長が会長に就任されることとなりました。

藤井参務、錦組織部長(当時担当)立会いのもと、常任委員会からサチカ会長、前会長にそれぞれの肩衣が手渡されました。さらに妙子前会長には24年間会長をお勤めいただいた感謝の気持ちを込めて花束をお贈りしました。

今回可決された議案にもありますように大谷婦人会では、2023年の宗祖親鸞聖人御誕生

八百五十年・立教開宗八百周年慶讃法要に向けての3年間に慶讃事業を計画しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況を見定め、必要に応じて本計画内容の一部を見直すことも視野に入れて進めてまいります。

このコロナ禍が収束することを念ずるばかりですが、ステイホームでできた時間の余裕を自分を見直す良い時間と前向きに捉えていきたいと思っております。

暢裕門首の御尊父であられる大谷暢慶鍵役は南米開教のため、昭和27年ブラジルへ赴かれる直前、石川県松任(現在、白山市)の明達寺 暁烏 敏 氏を訪ねられました。そのお別れの折の情景は1冊の本にもなっております。

仏法が遠くブラジルの地に伝わり、その地で法義相続なされた方が、今こうして門首となられ、サチカ夫人が私たちの大谷婦人会の会長となられました。仏縁の不思議に感動です。これからはサチカ会長とともに「聞法一路」「とどけようナンマンダブ」と念仏申してまいりましょう。

大谷婦人会会長 就退任によせて



皆様には、日頃から大谷婦人会に格別のご尽力をいただいておりますこと、心からお礼を申し上げます。

2020年の初めには誰も予想していなかった事態が世界中で今なお続いております。この状況が一日も早く収束しますことを心から願うばかりでございます。

今年は大谷婦人会創立130周年を迎えました。一口に130年と申ししましても明治 大正 昭和そして平成 令和と世界的な変貌、社会的な激変の大きな波をかぶる

こともありました。また一人ひとりの家庭生活や考え方、価値観も大きく変わってまいりました。

しかし、そうした変化の中で、大谷婦人会が沈むこともなく埋没することもなく、今日を迎えることができましたのは、偏に先輩の方々が親鸞聖人さまの唯信鈔文意にお示しく下さいました

「ときをきらわず ところをへだてず

真実信心を得たる人にそいたまいて護りたまふ」と、

如来諸仏の開いて下さいましたお念仏の大道を、踏み外さずに歩んで下さった賜物と、只々有り難くいただいております。私もこの理念を生涯の宝として歩ませていただきたいと思います。と思っております。

今年の7月30日をもちまして、私は大谷婦人会会長を引かせていただきました。会長の務めをさせていただいた約四半世紀の間、多くの会員の皆様からいただいた温かいお励ましやお力添えに心から篤く篤くお礼を申し上げます。

有り難うございました。

前会長 大谷 妙子



この度は、大谷婦人会委員会にて会長に推輓いただき、大変光栄に思っておりますとともに身の引き締まる思いがいたしております。

会長職をお引き受けするにあたり、まずは、1996年の会長就任から長きにわたり、婦人会の先頭に立って仏法聴聞なされてきた妙子前会長様に敬意と謝意を表します。本当にありがとうございました。また、婦人会130年の尊い歴史を連綿と受け伝えてくださった皆様に心から頭が下がる思いです。

私はブラジルで生まれ育った日系2世です。ブラジルはキリスト教の国です。そんな国にあって亡き母は、父の死を機縁として日々ブラジル別院へ通い、生涯聞法の生活を送りました。私はその姿を見て真宗の教えは時も国も超えて、世界に通じる教えだということを学びました。

世界は今、新型コロナウイルス感染拡大により、多くの方々が様々な状況の中、大変な思いをされておられます。このコロナ禍だけではなく、人が生きていくことには、常に苦しい思い、悲しい思いがついて回ります。仏教の教え、浄土真宗の教えは、そのような思いを持つすべての人々を本当の意味で明るく生きさせてくれる唯一の道を私たちに示してくださっているのではないのでしょうか。

母から伝わった仏法を次の時代に伝えていくこと、「とどけよう ナマンダブ」をどのように実現していけるかということを、改めて皆さんとともに考えていきたいと思っております。

大谷婦人会が、会員の皆様が互いの顔を思い浮かべ、力づけられる、そういうサンガとなるよう、聞法一路を大切に勤めてまいりたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

会長 大谷 サチカ

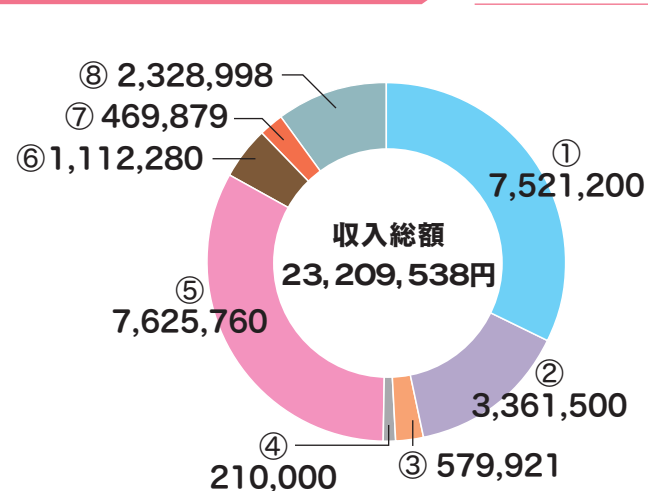
大谷婦人会2020年度委員会報告

真宗大谷派大谷婦人会2020年度委員会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から文書会議により開催されました。

今回の委員会では、大谷妙子会長の退任のご意向を受けて、新会長の推輓の件、真宗大谷派大谷婦人会2019年度聞法研修事業報告・収支決算書、2020年度聞法研修事業計画案・収支予算案、宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業計画案、婦人会規則の一部改正案についての第1～7号の議案が議決されました。

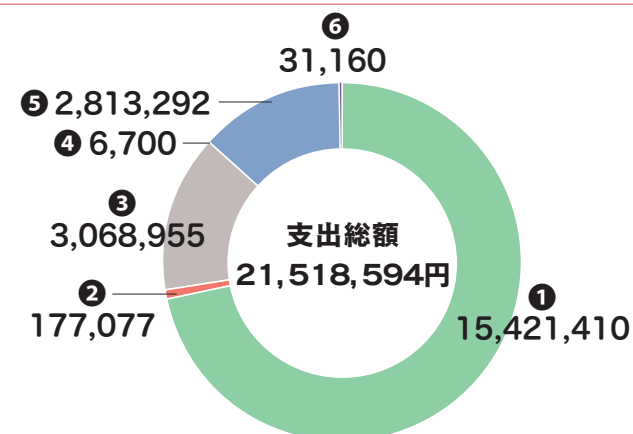
2019年度決算

自 2019年7月1日 ～ 至 2020年6月30日



収入

- ① 年会費：会員一人700円
- ② 冥加金：全国大会、地区聞法会、全国支部長・役員研修会、すみれ会等の参加費
- ③ 懇志金：有功章懇志、諸懇志、永代経懇志
- ④ 記章礼金：会員略肩衣・念珠・バッグ、記章
- ⑤ 花すみれ購読料：『花すみれ』の購読料
- ⑥ 教化誌購読料：『やさしい法話シリーズ』の購読料
- ⑦ 雑収入：発送費、預金利息、グッズ販売、『花すみれ』広告料等
- ⑧ 繰越金

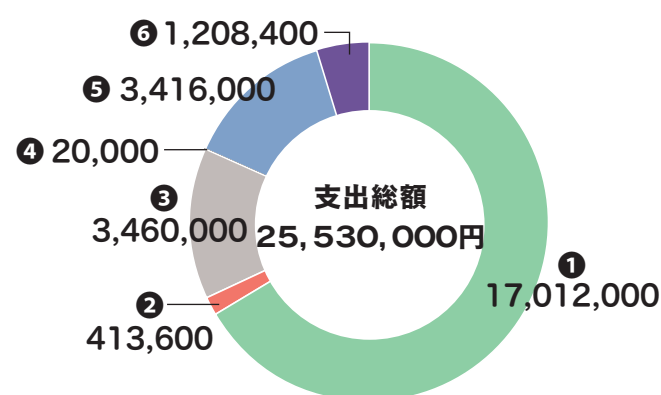
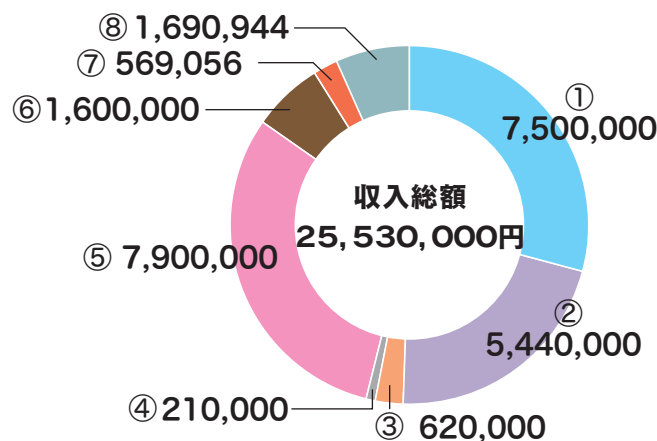


支出

- ① 法要・教化・文書伝道費：全国大会、地区聞法会、研修会、支部巡回講師派遣、定例法話、法要・莊嚴費、ブロック別支部長会、すみれ会、『花すみれ』、『やさしい法話シリーズ』、『通信すみれ』等に係る経費
- ② 奨励費：支部の設立や活動への助成金、会員略肩衣、念珠、バッグの調製等に係る経費
- ③ 会議費：委員会、委員協議会、常任委員会等に係る経費
- ④ 人件費：専属嘱託・アルバイトに係る経費
- ⑤ 諸費：保険料、事務通信費、慶弔費、公租公課、業務委託等に係る経費
- ⑥ 予備費

2020年度予算

自 2020年7月1日 ～ 至 2021年6月30日



大谷婦人会は被災地の支援をしています。引き続き義援金のご協力をお願いいたします。
郵便局 振替口座 真宗大谷派大谷婦人会災害義援金 口座 00950-3-209979

真宗大谷派大谷婦人会2020年度聞法研修事業計画

テーマ 「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

サブテーマ 「とどけよう ナンマンダブ」

スローガン 「聞法一路」

計画概要

会長就退任を迎えた今年度は、大谷婦人会の新体制のもと、これまで以上に聞法活動を推進してまいります。
しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度は、大谷婦人会ができることを模索し、これまでの聞法活動の在り方等を見直しつつも、文書伝道としての『花すみれ』や冊子の発行等、届ける教化の充実を図ってまいります。

そして、今こそ「聞法一路」の精神を大切に受け止め、2023年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要を全国の会員とともに迎えたいことを願います。

※なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況によって本計画の一部を急遽変更する場合もあります。

法要・聞法研修事業

お内仏報恩講

開催日 2020年12月10日(木)
会場 しんらん交流館1階 すみれの間
講師 未定

すみれ会(第4回)

開催日 2021年 春
会場 しんらん交流館2階 大谷ホール
講師 未定

有功章受賞者茶会

開催日 未定
会場 未定
対象 これまでの桜花有功章以上の受賞者

新年初会

開催日 2021年1月10日(日)
会場 しんらん交流館1階 すみれの間
講師 未定

定例法話

開催日 毎月10日
会場 しんらん交流館1階 すみれの間
講師 随時調整中

文書伝道事業

月刊聞法誌

『花すみれ』 毎月発行

聞法小冊子

『やさしい法話シリーズ22』
年内発行予定

通信『すみれ』22号・23号

真宗大谷派大谷婦人会

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業概要について

大谷婦人会では、2019年度を慶讃事業の準備年度と位置づけ、慶讃事業計画の策定に向けて協議を進め、2020年度から慶讃事業を展開していくにあたり、これまでの協議内容を踏まえ、先の委員会において事業概要が議決されました。

2023年にお迎えする慶讃法要に向けて、大谷婦人会がこれまで大切にしてきたスローガン「聞法一路」と、サブテーマ「とどけよう ナンマンダブ」をより具現化していく大切な機縁として受け止め、教えを聞き伝えていく場の広がりを図ってまいります。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大により未だその収束の目途すら立たない状況下において、これまでのような大規模での聞法会の開催が困難な状況にあります。現状においては、数百人規模で開催する方向で事業も計画していますが、今後の状況を見定め、必要に応じて本計画内容の一部を見直すことも視野に入れて進めてまいります。

私たちの宗旨

【宗旨】浄土真宗
【本尊】阿弥陀如来
【正依の経典】
仏説無量寿經(大經)
仏説観無量壽經(観經)
仏説阿弥陀經(小經)

【宗祖】親鸞聖人
【宗祖の主著】
顕浄土真実教行証文類
(教行信証)

【宗派名】真宗大谷派
【本山】真宗本廟(東本願寺)
【所在地】
京都市下京区烏丸通七条
上る常葉町七五四番地

編集後記

(近藤編集長)

会長の就退任があり、ちょっとセンチメンタルな気分と淋しさ、喜びと期待、さまざまな思いの巡るこの時、希望を持ってこの困難な時の中に船出していく大谷婦人会。
新会長サチカ様とともに心は密に寄せ合って、さあ、今こそ「とどけよう ナンマンダブ」